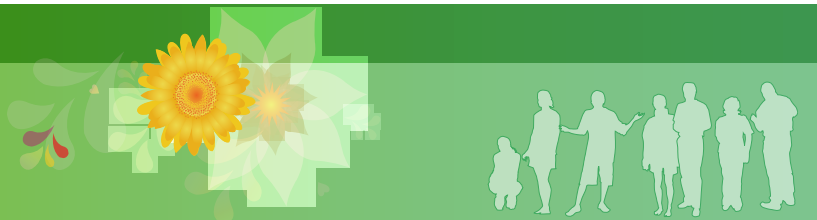


平成27年第2回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

林 則行 (千代田)

子どもの遊び場確保について

問 ①保育園等砂場のプラスチック片混入問題について②民間保育所等の代替園庭となっている公園の改修及び禁煙化への取り組みは。

答 ①原因は砂採取場所での混入。場所の変更を手配中。納入業者の責任で入れ替える②所管課と連携し必要な整備を協議。禁煙化は運用面に対応。

保育所の整備計画について

問 ①麴町保育園仮園舎の活用なしに保育需要を満たせるのか②神田保育園園舎の欠陥部分の対策は③代替園庭となっている公園の現状で、遊べる園児数の限界は。用地購入等の是非は。

答 ①待機児童解消までは活用する②必要に応じ修繕等に対応③遊べる人数の把握、用地確保は極めて困難。

岩田 かずひと (維新フ)

路上喫煙者に対する罰則

問 生活環境条例施行後10年以上が経過したが、夜間や路地裏での違反者が多い。過料の金額引き上げの可能性等を含め、今後の取り組みは。

答 金額の引き上げは考えていない。今後、経済情勢が変化し、過料が低すぎて効果がないと判断された場合は、改めて検討する。

ゴミの収集方法について

問 回収車が収集するまでは、集積所にゴミ袋が山積みになっている。不衛生で、見栄えも良くない。打開策は。

答 現在、区内の集積所がどのような形態で管理されているか実態調査を進めている。その結果を踏まえ、地域の方々にもご協力いただき、ゴミ集積所と収集方法のあり方を検討していく。

飯島 和子 (共産)

障がい者の住居確保等

問 ①区営住宅申し込みの際し、軽度障がい者も優遇措置の対象とすべき②収入に応じ家賃が設定されたグループホームが必要③介護保険と障害福祉のサービスは、利用料、自己負担の限度額が異なり介護保険がより重くなっている。負担差を減らす助成制度が必要。

答 ①②組織改正し、障がい者と生活保護の各部門を合わせ、集中的に検討③介護保険優先の原則は問題点がある。国による再検討を期待。

75歳以上の医療費助成を

問 3割負担は2割に引き下げ、一定額を超える年間窓口負担に助成を。

答 社会保険制度の持続のため「能力に応じた負担」は必要。割合の引き下げ及び助成の新設は適当でない。

はやお 恭一 (千代田)

がん検診受診率向上のためには

問 区民の健康づくり推進のための行動計画「改定健康千代田21」に基づく、次の現状と今後の見通しは①各種がん検診受診率②土日健診の実施医療機関数③がん予防知識のある人の割合。

答 ①おのおの横ばい状態。医師会と連携し受診率向上を図る②23年度比増③来年度調査。広報等で知識普及を図る。

生活習慣病予防の対策と方向性

問 ①特定健診・特定保健指導受診率の課題への取り組み②「改定健康千代田21」で示す5年後の区立施設の禁煙・分煙化について、現状と見通しは。

答 ①レセプトを基に未受診者へ受診勧奨②禁煙・分煙化率は88.4%。今後、公園を含む区立施設の受動喫煙防止対策を促進。

牛尾 耕二郎 (共産)

認可保育園待機児の解消に向け

問 ①実態に即した待機児童数を算出し公表すべき②希望の保育所に通える整備計画が必要③民間中心の保育供給方針は限界④保育供給計画に「区立保育園増設」を入れるべき。

答 ①国の基準に従い公表しているが、特定園留保等の人数は公表していく②③④保育供給計画を見直す予定。また、新たな保育需要には、私立認可保育所を中心に整備していく。

第2子以降の保育料の無料化を

問 少子化対策や社会全体で子育てを応援していくことにもなるため、第2子以降の保育料無料化を提案する。

答 個別の軽減策ではなく、次世代育成施策の収支バランスを勘案しながら、総体としての経済的負担軽減に努める。

小林 たかや (声)

喫煙所の増設と分散化

問 芳林公園は喫煙者が集中し、現状の喫煙施設では受動喫煙の問題がある。喫煙所の絶対数を増やし分散化が必要。

答 密閉型喫煙施設への改修と、小規模分散型喫煙所の整備を推進する。

幼稚園定員超過の問題点と対策

問 入園希望者が、定員超過となり、抽選となるケースが生じている。定員増と必要な人員確保等の対策を講じるべき。

答 小学校併設のため教室の増設は困難であり、定員増とこども園導入を検討し、計画的に人員を増やしていく。

